

# 診断京都

No.70



(題字 品川前支部長筆)

2002年 夏季号

社団法人 中小企業診断協会京都支部

## 新拠点での発展を

社団法人 中小企業診断協会京都支部は5月25日午後、ホテルオークス京都四条で第43回通常総会を開催した。委任状を含めて65人の会員が出席。会議に先立って、4月の理事会で交代した品川弥太男前支部長と安田徹新支部長が辞任・就任の挨拶をした。

品川前支部長が議長になって進められた総会では、平成13年度事業報告と収支決算書が承認された。13年度のトピックは支部事務所が京都産業会館に移転したことである。協同組合京都府中小企業診断士会と共同使用という形をとっているが、交通至便の地での独立事務所開設という利点は大きく、早速各種会議や研修会、パソコン教室などに活用している。

平成14年度事業計画と収支予算も原案通り承認された。新事務所を積極的に活用して、会員の資質向上と社会的地位の向上に努めようとするのが主な事業内容で、研究会活動の充実と、会員サービスの強化を図っていく方針である。



写真は支部総会

### \*\*\* 本年度の部門別役割分担〔敬称略〕 \*\*\*

- 情報部門 (支部長直轄): 安田徹、玉垣勲、松田幸之助、木津要三 他
- 事業部門 担当 玉垣 勲
- 研修部門 担当 玉垣 勲
- 登録更新研修: 品川弥太男、岸田道彦、松田幸之助、村上薫、西河豊
- 産官学交流: 上島政樹
- 経営革新研究会: 村上薫、品川弥太男、横倉幸司
- 組織率の向上: 安田徹
- 診断実務研修: 西河豊、松野修典
- 本部関係事業: 安田徹
- 会員研修: 山崎忠夫、辻井功
- IT調査研究事業: 松田幸之助、岸田道彦
- IT研究会: 木津要三、中路悦雄、松井宏次、藤原正樹、坂田岳史、松田幸之助
- 広報部門 担当 松田幸之助
- 機関誌発行他: 船越昇、高木健次、田中孝、福永幸雄、上田清、山脇康彦
- 総務部門 担当 松田幸之助

## 会員はいま、活躍のとき

支部長 安田 徹

皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、去る4月26日の理事会において品川支部長が辞任され、後任に私が就任致しました。よろしくお願い致します。品川支部長の7年間の振り返って見ますと、会員の増加、支部事務所の開設、協同組合の設立・発展と京都支部の発展と診断士の地位の向上を目指し、着実に実現されてきました。先ずは、その実行力に絶大な敬意を表し、その路線を継承したいと考えています。



中小企業診断協会本部では、診断士制度を維持・発展させ、中小企業診断士の活躍の場を拡充し、その活用企業を増やしていくため多くの関係者に幅広く中小企業診断士制度が理解される必要があるとしている。このことをアピールするため「中小企業診断士制度の活用アクションプログラム」と名付けて重点実施することにしています。

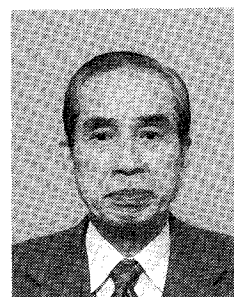
京都支部におきましても、このプログラムに協力し、会員の中小企業診断士が活躍する姿を目に見える形でアピールし、地元京都の中小企業に、中小企業診断士の存在と価値を認識してもらおうチャンスにしたいと考えています。

そのためには、会員一人一人の積極的な参加が不可欠であります。また、前向きな取り組みのためどのようにすべきか、それぞれの立場からご意見をいただきたいとも考えています。会員皆様の少しずつの協力で、京都支部の発展と中小企業診断士の地位の向上を実現していきたいと思っています。ご協力をお願い致します。

## 基礎固めの7年間

前支部長 品川 弥太男

私は支部長として会員に対する最大の責任は中小企業診断士と中小企業診断協会京都支部が地域産業の振興に中小企業の経営支援実務の実績を通して役立つことにより、社会的評価を高めることであり、また、それが会員に対する最大のサービスであると考えて7年間やってまいりました。



そのために実務研修機会の開拓、新心学塾の開講、中小企業健全性評価制度の調査研究、支部事務所の市中心部への移転と充実、事業領域の拡大、受託事業部門の別法人化、その他情報化の推進と商品づくり等考えてまいりまして、おかげで今後の基礎が些かなりともできたのではないかと考えております。

今後は中小企業や商工関係だけでなく、市町村などの地方公共団体およびその関連団体、府下商工会議所・商工会、農協、組合等の各種団体も構造改革、経営の合理化効率化の必要性が意識されて、専門家による経営支援が求められています。支部としてはそれに対応するとともに、その専門委員等として、意欲的に参加していくことが必要であると思っております。

新支部長のもとに結集し、必要に応じて適材適所に提携し、一つ一つの仕事に良い成果を挙げて下さい。その実績を積むことによって、更に実力を伸ばし信用を得て、診断士の評価を高め、未開拓の領域においてもお役にたつことを期待しております。

# 今年の更新研修は キャンパスプラザ京都で

京都支部は平成14年度中小企業診断士理論政策更新研修を8月4日(日)と10月20日(日)の2回、いずれも午後1時からJR京都駅西のキャンパスプラザ京都で行う。講師は第1回目は黄瀬謙治・京都府商工部次長と藤井明登・京都支部会員。第2回目は白須正・京都市スーパーテクノロジー推進室長と藤井明登会員。定員は各回140人。

実務能力更新研修(演習)は9月7日～8日、ハートピア京都で終日実施。講師は京都支部会員の西河豊、松野修典両氏。定員70人。

申し込みは7月26日までに診断協会京都支部へ。先着順に受け付ける。

昨年、「戦国武将に学ぶ経営戦略」(新評論)を出版した。毛利元就、徳川家康ら武将の戦術や人事を現代経営学の視点から分析して、優れた点を学ぼうという一冊。  
「京都で生まれ育ったせいでしょうか、歴史に絡んだ本が書きたかった」  
呉羽紡績(現東洋紡)に23年間勤め、人事・労務畑を歩んだ。会社の先輩に薦められて中小企業診断士の資格を取得したものの、そのころは最後までサラリーマンをするつもりだったという。

## 第2の人生

元東洋紡社員 高木健次さん(71)

ところが、ある人から独立を強く説かれ心が動いた。ちょうど紡績業界が下り坂となり、仕事も楽しさがなくなり始めていたころ。「やりがいも生きがいもあるといわれて一念発起しました」  
昭和53年に経営コンサルタントに転身した。  
京都、大阪の中小企業を中心に飛び回る毎日だが、長年、会社組織を内部から眺めてきた目は厳しい。ある会社社長の親族が事務所の備品を自宅に持ち帰って使っていたことがあったが、「家と会社の境目はきっちりとするべきだ」と厳しく指導した。  
中小企業はトップの権限が大き

## 新関西人国記

### おかしな状態正すのがコンサルタント

すぎるため、気まぐれな命令が出ることもあるから、「おかしな状態を正していくのがコンサルタントの務め」と話す。  
龍谷大学で7年間、非常勤講師も務め、経営学の教壇に立った。「私も大学の授業は出なかつたが、本を読んで穴埋めすれば大丈夫」と学生にサボり方を指南するなど講義はユニーク。実在の企業の経営を取り上げる講義が人気を集め、学生から就職先のアドバイスまで求められている。  
いまだにエネルギーギッシュ。「独立してよかったのは生涯、現役でいられることです」



当支部の高木健次氏の活躍の様子が4月23日の産経新聞夕刊に紹介された。

## 横顔

就任第一声は「行政や地域経済団体などと連携し、京都の中小企業のIT化推進に全力投球する」。35年間務めた京都中央信用金庫を昨年3月に退職。宅建主任、社会保険労務士、中小企業診断士、ITコーディネーター



玉垣 勲氏

進める一方で仲間とITC京都を立ち上げた。  
ITC京都にはITCを目指す7人を含む25人が結集。会員相互の情報交換や勉強会、利用者のための研修会といった活動を積極的に進め、02年度中には会員を約50人に増やした。05年までに1万2000人を認定する方針でITCの組織化は全国で進められているが「地元のためにやるを基本に、京都がモデルケースと言われるような組織運営」を目指す。趣味は山登り、釣りなど。  
66年(昭41)滋賀大経卒、同年京都中央信用金庫入職、01年3月退職、02年10月個人事務所「IT経営」開業予定。京都府出身、59歳。(たまがき けんお)

当支部副支部長の玉垣勲氏紹介の記事が5月16日の日刊工業新聞に掲載された。

### \*\*本の紹介\*\*

「地域経済のダイナミズム」  
＜京都の市民と企業＞  
日本経済評論社

当支部会員

山田順一郎氏

の編集参画書籍



# Chat de Chat

## 「温故知新ではなく温故知古の時代」

◆皆さんも TVCM でご覧になったことがあるかと思いますが、花王のシャンプーの宣伝で「亜麻色の髪の乙女」という曲が流れています。この曲は 70 年代の GS サウンドで、30 年余り経過した現在、その曲がとても新鮮かつきれいに聞こえたのは私だけではないのでしょうか？

◆また、元オフコースの小田和正のベスト CD のオリコン 1 位など、80 年代のサウンドも元氣一杯です。

◆日本経済の混迷が一層強まってきており、先行きが不透明になっている今、懐古趣味ではありませんが、古き良き時代にタイムスリップしたいと思っている方が多いのではないのでしょうか？

◆一方、新しいものに目を移すと、インターネットで本を購入すれば送料無料で近くのセブンイレブンで受け取る、[kakaku.com](http://kakaku.com) で青森から売主の顔も見ずパソコンソフトを購入する等、今までの購買・物流概念では考えられない商売が展開しています。

◆私事では、未だにオーディオに凝ってまして、最近 JBL4312Mk II というモニタースピーカーを購入しました。学生時代ではとても購入できなかった物が円安も手伝って、手にすることができました。また、Yahoo のオークションでちょっと前のソニーの超弩級のアンプ(重さ約 30kg もある)を落札し、ボーカルが正に目の前で歌っているかのような臨場感を楽しんでいます。最近のミニコンポでは到底出ない音が出てきます。技術はどんどん進んでいるのにサウンドクオリティは以前の方がはるかにすごい。こんなことって結構あるんですよ。

◆温故知新という言葉もありますが、古きをたずねて新しきではなく、古きをたずねて古きを知ることって今の時代にとっても必要なことではないでしょうか。

◆皆さんはどう思われます・・・？ (A.F)

## 総務

〔新入会員〕 伊吹秀之、秋田英幸  
〔転入会員〕 北川正樹(東京)、成岡秀夫(大阪)、  
中島伸樹(大阪)

## 研修

- ・経営革新研究会
  - 5月8日(水) 「開業計画の立て方と資金調達方法」  
講 師：国民生活金融公庫西陣支店  
木原 隆明 氏(会員)
  - 6月12日(水) ASP について「グループウェア」  
講 師：(株)ディアス 代表取締役  
折笠 僚洋 氏
  - 7月10日(水) 「出版業界・印刷業界の現状と今後の課題」  
講 師： 成岡 秀夫 氏

## 広報・情報

- ・京都支部のメーリングリストに登録しませんか。  
経営革新研究会や IT 研究会他各種研修会の案内などの情報をタイムリーに見ることができます。登録を希望される方はメールアドレスを支部事務所に F A X にてご連絡下さい。(8 月末までに)

### 編集後記

6 月発行予定のところ、作業の遅れから、8 月の更新研修にすべりこみセーフになりました。すみません。  
原稿が不足気味です。会員の投稿を待っています。

(編集委員一同)

### 診断京都

No.70

2002 年 8 月 1 日発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒 600-8009 京都市下京区四条通室町東  
京都産業会館内

TEL (075) 213 - 7980

FAX (075) 213 - 7981

メール [smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp](mailto:smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp)

ホームページ <http://www.joho-kyoto.or.jp/~rmckkyoto>

印刷所 岡本印刷 TEL (075) 344 - 9859

FAX (075) 344 - 9925